

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス木の花		
○保護者評価実施期間	R7年 9月 10日		～ R7年 9月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	R7年 10月 1日		～ R7年 10月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた支援プログラムに沿って支援ができている	アセスメントを適宜おこない、共通理解のもと個々に対応している	日々の療育内容や支援方法など、専門職間での連携を更に深めたい。
2	・地域の公共施設(交流館など)を利用して保護者参加型のイベントなどを開催している。地域との交流の場になっている。	・事業所内で定期的な研修(職種別、全体)を開催すると共に、外部の研修にも積極的に参加し、専門性の向上を図っている。	・職員が自己研鑽に取り組みやすい環境づくり。(研修費の補助、業務負担の軽減など)
3	・障がい児支援の経験がある専門職が在籍しており、保護者にとって安心感のある支援を提供できる。	・利用児が自宅でも取り組めるような方法(日常生活動作)を模索し、保護者に伝達している。	今後も個々に合わせた支援を行っていきけるよう、支援者のスキルを高めていけるよう研修やケース会議等を行いながら支援に努めたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間が手狭に感じることがある	子どもの成長に伴い、手狭になっている。また、車いす等の場所の確保が難しい	物の整理整頓をする。予備の部屋を有効に使う。公共施設の利用をする。
2	関連機関(他事業所など)との連携	利用児の体調や装具に関して、他事業所等の様子を共有したいがなかなか難しい	情報が伝わる方法を検討していく。担当者会議や学校送迎時を有効に活用する。
3	非常時の対応	非常時対策(訓練や書面配布)はしているが、家族になかなか伝わっていない	家族を交えた訓練が必要と感じるため、検討する。